

BLACK DIA COIN

— 飲食店とお客様を結びつけるために作られたトークン



◇ About



BLACKDIA（以下 BDA）とは 2018 年 5 月 9 日、飲食店とお客様を結びつけるために作られた Waves トークンです。現在は Waves トークンですが、ERC223 規格であるイーサリアムトークンの利便性・発展性を見込んで、新コインに変更予定です。

BDA は、上場がゴールではありません。取引所も複数上場を目標とします。また、複数店舗で BDA を可能にすることを目標にしております。さらに、BDA 決済可能な飲食店を新規立ち上げも予定しております。

3 年目の飲食店が閉店することが多いという厳しい業界ですが、そんな業界をサポートすべく、BDA は存在します。

BDA は、全国の飲食店の救世主となるべく、動いていきます。

◇ About



BLACKDIA（以下 BDA）とは 2018 年 5 月 9 日、飲食店とお客様を結びつけるために作られた Waves トークンです。現在は Waves トークンですが、ERC223 規格であるイーサリアムトークンの利便性・発展性を見込んで、新コインに変更予定です。

BDA は、上場がゴールではありません。取引所も複数上場を目標とします。また、複数店舗で BDA を可能にすることを目標にしております。さらに、BDA 決済可能な飲食店を新規立ち上げも予定しております。

3 年目の飲食店が閉店することが多いという、厳しい業界ですが、そんな業界をサポートすべく、BDA は存在します。

BDA は、全国の飲食店の救世主となるべく、動いていきます。

◇ 存在意義

馴染みのバー、初めて訪れた土地でのレストラン、時には大切な人との食事の場所、気軽に行けるラーメン屋。飲食店は、数えきれないほど存在しており、我々の生活の中では、なくてはならないものとなっています。



そこでの支払いは、出来るのであればスマートに行いたいというものです。

そんな時に、スマートフォン一つあれば、さっと支払いを終えることができます。また、横に座った人に一杯奢る。このようなことを簡単に可能とします。これは、店側の決済を挟まずとも奢ることができます。BDA は現状の電子マネーを先に行く、仮想通貨払いを可能にします。

◇ 仮想通貨を店舗で使うメリット

BDA では、店舗で使う仕組みを提供します。その仕組みを利用することにより、通常で決済システムを導入するよりも、はるかに簡単に実現することを可能とします。

それは、店舗側・お客様の両者にとってメリットを生み出すことができます。

1. 店舗側のメリット

BDA では、Web の仕組みを入れることにより、簡単に決済の仕組みを店舗に取り入れることができます。そのため、店舗側の負担も低く、低コストで決済の仕組みの導入を実現することができます。また、電子マネーは店側に手数料がある程度かかる仕組みになっていますが、仮想通貨にすることにより電子マネーの手数料より減らすことが可能となります。

2. お客様側のメリット

お客様は、スマートフォンの操作のみで簡単に支払いができるような仕組みを提供します。その仕組みを使うことにより、割引を可能としたり、イベントに簡単に参加できるようになります。また、どこにいても BDA を購入することができるので、ATM で入金したりする必要はありません。



3. 店舗・お客様共通のメリット

ブロックチェーン技術を使うことにより、確実に使用（送金）されたことが誰でも使用履歴から確認することが可能です。もちろん、暗号化をされているため、高いセキュリティを保つことで安心して使用することができます。

◇ 仮想通貨だからできること

仮想通貨は、今後我々の生活に、さらに身近な存在になっていくことが想像できます。

既に複数の店舗で仮想通貨を使用して支払いを済ませることができます。

仮想通貨は、電子マネーとは違い、いつでも市場が開かれております。

そのため、一度飲食店で使用するために購入したものの、使わなかった場合は換金することが可能です。



これは今までの電子マネーにはない観点となります。(特殊な例を除く)。

また、仮想通貨の取引は時間を選びません。24 時間 365 日取引が可能です。

BDA の購入は、ご自身の都合の良い時間で取引することができます。

◇ BDA でできること

1. Drinks (are) On Me 機能 = DOM 機能



BDA の提供する仕組みを使うと、隣の人に一杯奢る、
ということが簡単にできます。バーなどでは、たまたま
居合わせた人と意気投合、ということもよくあります。
その際に、一杯奢るよ、と簡単に奢れると良いですね。
そのような機能を BDA では提供することができます。

① 直感的な操作で簡単におごることができる



② 一杯分の BDA が送金される



③ 履歴が保存され、いつでも見やすい形で閲覧できる



Drinks (are) On Me 機能 = DOM 機能という BDA プロジェクトが提供する機能を使うことにより、このようなことを行うことができます。

図にある通り BDA を使用すると、「奢った履歴」を確認することができます。酔っ払ってしまって昨日奢った気がするな・・・というような時でも、後から確認することもできますね。

奢ってもらった BDA は、自分のウォレットに保有されます。それを奢ってもらった方に次に会った時に奢り返すのもよし、別の人に奢るのも良いでしょう。



奢ることの連鎖で、BDA の循環サイクルができます。これは、仮想通貨として大事な流動性の確保をすることができます。

さらに、大勢参加する飲み会のような時は、割り勘で支払いたいと思うのは自然でしょう。

DOM 機能を使えば、割り勘で支払うことも簡単に行うことができます。

2. ストアポイント機能

BDA では、お店で使えば使うほどお得な特典を提供します。BDA で支払をすると、ポイントが貯まる仕組みを提供します。この仕組みを提供することにより、店舗側はリピーターを増やすことができ、お客様側は無料でお酒を飲んだり、それを別の通貨に換えることも可能となります。

コンビニでは、ポイントカードの提出を毎回求められて飽き飽きしているかもしれません。

しかし、この機能は普通に決済をするだけで、勝手にポイントをためることが可能です。

「ポイントカード作りますか?」「いや、けっこうです」

という無駄な会話は不要です。

3. 割引機能

いつから日本ではこんなにイベントが多くなったのでしょうか？ハロウィンやクリスマス、バレンタイン、夏祭り、ハッピーアワー等々。そんな時には、店舗側でもつい割引をするような企画を立てたいものです。BDA が提供する仕組みでは、

簡単に割引できるような機能を実装します。

BDA を使用する際には割引をする、というようにすることも容易です。

イベント時など、割引をすることで、より盛り上げることが出来るようになるでしょう。

浴衣やコスプレをしてくると割引、というよ

うなことも、イベントを彩る一部となるでしょう。



4. 専用ウォレットの提供

BDA では、専用のウォレットの開発も予定しております。ウォレットは、端末機種が android であれ iphone であれ、使用することが可能です。また、ウォレットの機能は最初は BDA を保有するだけのものですが、徐々にバージョンアップする予定です。

(1) 初期リリース対応

決済額と、送信先が一体となった QR コードを店側が発行します。それを読み込むことにより、BDA を送付することができます。また、BDA のウォレットとして、高いセキュリティを提供します。もしもあなたが酔っ払って寝てしまっても、決して盗まれることはありません。



(2) バージョンアップ対応

以下のような機能を有するウォレットを目指します。

- ・ 2 段階認証の設定
- ・ 位置情報から近くにいる人を読み取り、近くにいる特定の相手に一杯おごることや、チャットが可能となる。(DOM 機能)
- ・ 電子マネーのように、かざすだけで決済が可能となる。
- ・ BDA 以外の仮想通貨を格納可能とする。

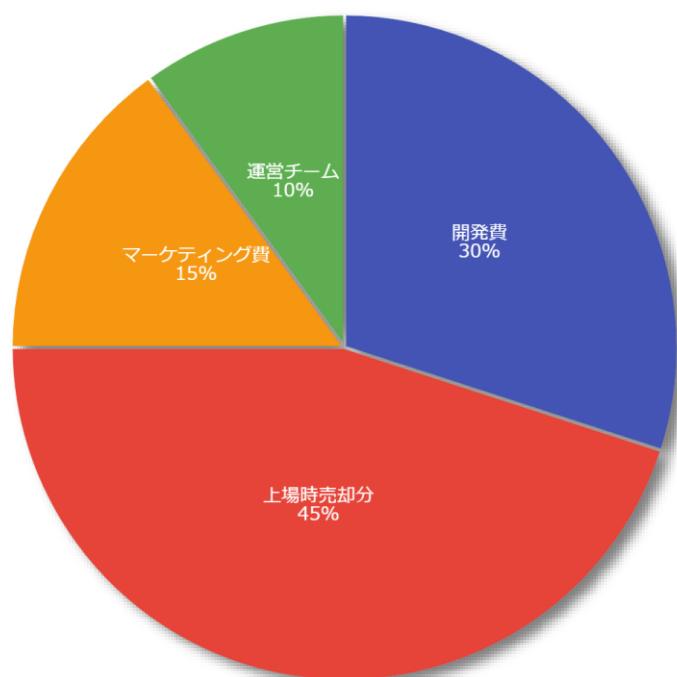
完全なセキュリティを有し、かつ情報連携のツールともなりえるウォレットと言えるでしょう。

5. 使用店舗の採用・拡大

BDA で使用できる店舗を現在選定しているところです。まずは既存店舗で使えるようにします。また、新規で飲食店を立ち上げる予定でいます。仮想通貨を身近なものにするべく、BDA は活動を行っていきます。



◇ BDA 保有割合



開発費 30%

独自アプリケーションの開発、
決済システム研究・開発費として利用します。

上場時売却分 45%

最初の上場時に 20% を売却します。
残りは、新たな取引所へ上場する為の資金として必要に応じて順次売却します。

マーケティング費 15%

Air Drop、公式 Twitter、Discord、
その他宣伝を含む配布分に利用します。

運営チーム 10%

協力者、開発チームに利用します。

SPEC

Waves トークン



名称 : BDA
アセット ID : ANdLVFpTmPxPsCwMZq7hHMfikSVz8LBZNYkziPgnZ7sn
枚数 : 1 兆枚

Ethereum トークン (ERC223)



名称 : BDA
コントラクト : 0xf6caa4bebd8fab8489bc4708344d9634315c4340
枚数 : 400 億枚

<注意事項>

現在は Waves トークンですが、冒頭に記載の通り ERC223 規約対応のトークンに変更する予定でおります。その際には、すでに配布済みの Waves トークンと ERC223 トークンとの交換対応を行う予定でおります。現在エアドロップで保有している方に恩恵が得られるような形の交換を予定しております。

◇ プロジェクト体制

1. 運営

代表：Furuta Kazuya

他：6名



2. 法人設立

2018年9月の取引所への上場前後に、法人化を目指します。

社会的信用を内外に示すために、法人化は必用なことであると思っております。

※ 反社会的勢力について

BDAのプロジェクトチームは、反社会的勢力とは一切関与しておりません。

また、仮想通貨ではまだ法整備はされておきませんが、パンプ行為についても、一切関与しておりません。

プロジェクトチーム全員が、そのようなDiscordに属していないことも確認をしております。そのために、店舗決済していただく際のパートナーシップを結ぶ際に、そのような心配をしていただくことは不要です。

◇ ロードマップ

2018年

5月10日



Black Dia Coin 誕生

Wavesトークンとして、
BLACK DIA COIN が誕生しました。

6月1日



公式キャラクターディアたん♡発表

公式キャラクターとしてディアたん♡を発表しました。
同キャラクターによる「おみくじ」「会話」のDiscordチャンネルを新設しました。

7月25日



ホワイトペーパー発表・公式WEB発表

BDAプロジェクトの発表となります。
飲食店を応援するコインとして、WavesからERC223規格に変更し、上場を目指します。

8月上旬～
8月中旬



WavesからERC223へのスワップ期間

ERC223規格への変更に伴い、スワップを行います。

8月下旬～
9月上旬



プレセール期間

上場に先立って、プレセール期間を設けて、先行して販売を行います。

9月上旬～
9月中旬



取引所上場

一つ目の取引所に上場します。
ここからが、本格的なBDAプロジェクトの始まりとなります。

11月



BDA専用Wallet提供

BDAを格納する、高いセキュリティを保有するWalletを提供します。

11月～
12月



取引所複数上場

BDAは複数の取引所への上場を目指します。
9月に続いて、この期間で複数の取引所に上場します。

2019年



仮想通貨使用可能な飲食店をオープン

BDAで決済可能な飲食店をオープンします。



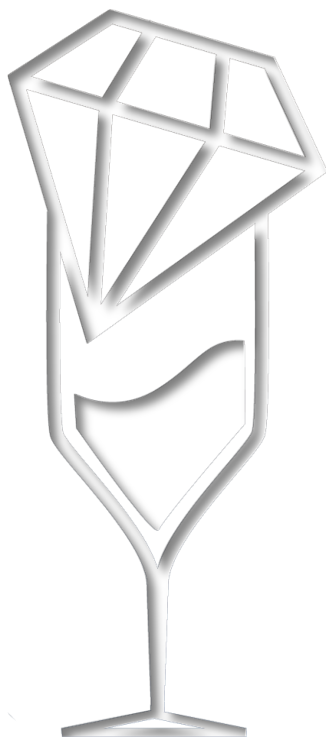
BDA専用Walletバージョンアップ

2段階認証や、DOM機能などが使用可能になった、次世代ウォレットを公開予定です。



さらなる高みを目指して

BDAの成長は止まりません。今後の発表にも、期待してください。



—全国の飲食店の救世主となるべく動いていきます